



## 「生き物」が大好きな幼少時代

幼い頃から生き物全般が好きで、野山を駆け回っているような子どもでした。生態系について学び、生き物のために働きたいと思い、理学部生物学科への進学を決めました。

## 大学で経験できることは、何でもやる

富山大学は学部・学科が多く様々な学生と関わることができます。考え方・経験・志が違う学生と話すことで視野が広がると思う、サークル活動やアルバイトに加え、理学部が主催で行うサイエンスフェスティバルにも参加することにしました。

## 3年次でサイエンスフェスティバル 実行委員長に

サイエンスフェスティバルは、理学部の学生が主催する地域の小中学生向けの実験体験企画です。運営に関わる学生は全体で120名ほど。その中に各セクションのまとめ役として、実行委員会があり委員は15名ほど。私はその中で「サイエンスフェスティバル2024」の実行委員長に選出されました。

## 広報に力を入れて、動員数大幅アップ

実行委員長になり、まずは広報に力を入れました。理科に興味を持ってもらえる体験を提供するためには、動員が大事になります。

魅力的なイベントだと感じてもらえるように、サイエンスフェスティバルのウェブサイトを自分で勉強して作りました。それから、チラシのデザインもしました。理学部だけど、異なる分野についても学び、やってみる。そんな風に、いろんなことに挑戦でき、とても楽しく充実した経験でした。その努力もあってか、今年2024年9月に開催した「サイエンスフェスティバル2024」は、昨年より600人アップの約2400人の動員結果につながりました。

## 悩みながらも周りに支えられた日々

来場者アンケートを確認すると昨年より満足度が高いという回答が得られました。振り返ってみると、特別講演にJAXAの方を招へいしたり、大人数のメンバーをまとめるという役割は初めてのことでプレッシャーもありました。それでも参加学生は進んで作業してくれて、先生方も快く協力していただき、本当に周りに恵まれていました。学生、教職員みんなで作り上げた1大イベントでした。

## サイエンスの楽しさを伝えていきたい

サイエンスフェスティバルでは地域の子どもに向けて理科の楽しさを伝えることができ、充実していました。大学卒業後も、たくさんの人に生物や科学の面白さをわかりやすく伝え、社会全体が理科にもっと関心を持って研究がしやすい社会を作っていきたいです。



## 母校の後輩へ

大学選びで迷っている人も多いと思います。選択に迷ったときは、より自由度が高く、たくさんの人と関われる場所へ進んでください。意外と大学に入った後でも始められることも多いので、いまの選択に不安にならなくても大丈夫です。